



3月7日（金）少し肌寒さは感じられましたが、爽やかな晴天に恵まれる中、第78回卒業証書授与式が行われました。3年生145名は堂々と本校を巣立ち、新たな道へと歩んでいきました。

卒業式式辞より

今日の卒業という喜びは、皆さんの努力によって得られたことはもちろんですが、ご家族の深い愛情、地域の皆様方、友だちや先生方など多くの人たちの励ましや支えがあったからだと思います。その感謝の気持ちを大切にしてください。

皆さんも四月からは、自分が選択した進路先での新しい生活が待っています。中学校を卒業すれば、大人としての自覚をもって生きていくことが必要になります。私は卒業生の皆さんに最後のキーワードとして「グライダー型ではなく飛行機型人間になろう」という言葉を贈ります。グライダーは飛行機と似ています。しかし、飛行機は自分で飛ぶことができますが、グライダーは車などで引っ張ってもらい、上昇気流まで引き上げてもらわないと飛ぶことができません。皆さんはこれまで、学校の中で先生方や教科書などに引っ張られて知識を得たり、いろいろなことを学んだりしてきました。いわばグライダー型の人間です。ぜひ、これからは自ら積極的に学び、自らの力でさまざまな課題を解決したり、新たな世界を切り拓いたりしていける飛行機型の人間を目指してほしいと思います。今の世の中は、速いスピードで変化し、世界は大きく動いています。今まで人間が行っていた仕事が、どんどん機械化されています。今後もさらに機械化が進むと言われています。ですからこれからは、与えられたことをうまくこなすグライダー型から、「柔軟で豊かな発想」を基に、複雑化する社会を、独創的に、主体的に生きる飛行機型の人間になってほしいと思います。中学校で身に付けた自主・自立を発揮するチャンスです。

皆さんの活躍を応援しています。

送辞

送辞は2年生を代表して生徒会副会長の柴田蒼生さんが述べました。部活動や学校行事等を通して心に残る3年生との思い出や、お世話になった感謝の気持ち、そして3年生が学校に残してくれた財産を受け継ぎ発展させていくという決意を述べました。

答辞

答辞は3年生で生徒会長を務めた大本菜都さんが述べました。中学3年間で築き上げた友だちとの思い出や絆、保護者や教職員への感謝の気持ち、そしてこれからの人生を強く生き抜く決意を涙ながらに語り、感動を呼びました。



▲【卒業証書を受け取る生徒】▼



【送辞を述べる柴田 蒼生さん】



【答辞を述べる大本 菜都さん】

地域連携教育として、PTA（保護者）と連携した学年末テスト週間の右田中時観園（放課後学習教室）を行いましたので、右田中時観園について紹介します。

【右田中時観園】

夏休み（8／20）に行われた熟議（学力熟議）を受けて、「PTAも生徒の学力向上のために何かしたい」ということで、検討を重ねてきました。そこで、学年末テスト週間中の放課後に図書室等を使って、PTA役員見守りのもと放課後の学習会（試験勉強会）を行うことになりました。勉強が得意な生徒も、勉強が苦手で家庭に帰ってもすぐには机に着くことが難しい生徒も、放課後学校で少しでもテスト勉強をして帰ることができるようにし、本年度最後の定期テストで少しでも成績が上がるようにと、企画されました。そして、この放課後学習会を「右田中時観園」と名付けました。「右田中時観園」の名前の由来は、毛利氏が、家来が学ぶ場として当時の右田地区につくった、今で言う学校（「時観園」）から取っています。

「右田中時観園」は、学年末テスト週間に4日行いました。金・火・木は1時間30分程度、水は2時間程度行いました。4日間でのべ計211人が参加し、勉強して帰りました。

日	曜	参加人数
14	金	39人
18	火	55人
19	水	50人
20	木	67人
	計	211人



【コミュニティルームの様子】



▲【図書室で学習する様子】▼



【技術室の様子】

図書室だけでは教室が足りず、コミュニティルーム、技術室も開放して「右田中時観園」を行いました。大盛況でした。

学年末テスト終了後、「右田中時観園」に参加した生徒のアンケート結果は次のようになっています。

- 1 次回も参加したいか。
 - ① 参加したいととても感じた 35人（60人中）
 - ② 参加したいと少し感じた 23人（60人中）
- 2 参加した目的は何か。
 - ・集中して勉強したかったから。
 - ・家だと集中できないから。
 - ・学校の方が集中できる。
 - ・家だとスマホやゲームの誘惑に負けてしまう。
 - ・参加した方が勉強がはかどりそうだから。

「右田中時観園」に参加して
2年 梶村 明衣華さん
「時観園」に参加してみて、PTAの皆さんが、落ち着きがあり、集中しやすい雰囲気をつくってくださったおかげで、以前よりも集中して勉強に取り組むことができました。このような機会を設けていただいたことに感謝して、これからも勉強に励んでいきたいです。

勉強をがんばりたいと思っている生徒や成績を上げたいと思っている生徒が多いということ、少しでも学校で勉強して帰ることで、メディアコントロールにもなっているということが分かります。次年度も「右田中時観園」を継続していきたいと思います。